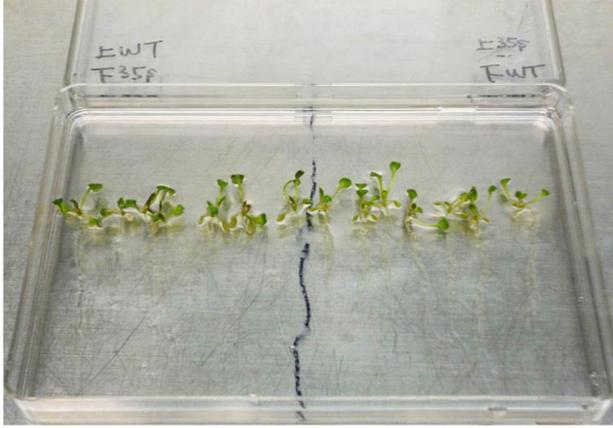


バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	第50回植物化学調節学会
演題名	共焦点顕微鏡を用いたシロイヌナズナ芽生えの胚軸間接ぎ木の形態観察
発表者	○ <u>松岡啓太</u> 、菅原恵理※、田熊一貴※、佐藤忍、 <u>朝比奈雅志</u> (植物生理学研究室)
内容	<p>これまでに我々が行った傷つけられた植物組織を用いた研究から、キュウリやトマトの胚軸では子葉で合成されたジベレリン(GA)が、シロイヌナズナの花茎では上部の器官から極性輸送されてきたオーキシンが、組織癒合過程における細胞分裂に必要であることがわかっている。しかし、両者の因子はGAとオーキシンと異なっており、植物種または組織の違いによるものと推測される本研究では、共焦点レーザー顕微鏡を用いた光学切片像による観察を試みた。以上の研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業、科学研究費補助金(若手B)による支援を受けて行ったものである。</p>
関連画像	 <p>寒天培地によるシロイヌナズナの栽培</p>